2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科目	区	分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	臨床柔道整復学各論 I		必修/i	選択の	の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位
対象学年	3年生		学期及	び曜日	诗限	前期	教室名	第2校舎203
担当教員		8経験と 関連資格						

《授業科目における学習内容》

骨折概論、脱臼総論、上肢骨折の概要、整復法、固定法、後療法について学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

定期試験課題100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集) 柔道整復学実技編(全国柔道整復学校協会編集)

《授業外における学習方法》

毎回の講義後、配布プリントとノートを見直しておくこと。

《履修に当たっての留意点》

在学などに留まらず各種行事にて、柔道整復師としての活動を理解することが必要となる。

授美方			内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義	授業を 通じての 到達目標	骨折総論①	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	各自で前学年次の総合
Ī⊨İ₹	我形式	各コマに おける 授業予定	骨の形態と機能、骨損傷の概説	(全国柔道整復学校協会監修教科書)	的な振返りを行うことが 必要である。
第	講義	授業を 通じての 到達目標	骨折総論②	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	振返りから、目標を選定
2回	我形式	各コマに おける 授業予定	骨折の分類、症状、合併症	無無以司第0版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	する為に現状把握が必 要である。
第	講	授業を 通じての 到達目標	骨折総論③	配布資料 柔道整復学•理	前学年時に履修した各
3	義形式	各コマに おける 授業予定	小児骨折	論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	科目の内容確認が必要 となる。
第	講	授業を 通じての 到達目標	骨折総論④	配布資料 柔道整復学•理	学年時における履修内 容を踏まえて、本年時の 履修内容を確認する。
4 回	義形式	各コマに おける 授業予定	高齢者の骨折	論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	骨折総論⑤	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	カーレットのかコレクル
5	莪形式	各コマに おける 授業予定	骨折の癒合期間	論構以訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	各テキストの確認を行なう。

	業の i法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標 各コママる 投業	骨折総論⑥ 骨折の治癒過程	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	各テキストの確認を行な う。
第 7 回	講義形式	授業を 通じて目標 各コマに おける 授業予定	骨折総論⑦ 骨折の予後、治癒に影響を与える因子	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	テキストの確認を行な う。必要に応じて解剖学 の教科書確認が必要と なる。
第 8 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標 各コマに おけ予定	脱臼総論① 関節の構造と機能	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	各テキストの確認を行な う。
第 9 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標 各コマに おける 授業	脱臼総論② 関節損傷の概説	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	各テキストの確認を行な う。
第 10 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標 各コマに おける 授業予定	脱臼総論③ 関節損傷の分類	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	各テキストの確認を行な う。
第 11 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標 各コマに おける 授業予定	脱臼総論④ 損傷される組織、鑑別診断を要する類症	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	各テキストの確認を行な う。
第 12 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標 各コマに おけ予定	脱臼総論⑤ 関節構成組織損傷	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	テキストの確認を行な う。必要に応じて解剖学 の教科書確認が必要と なる。
第 13 回	講義形式	授業を 通じて同標 各コマに おけ予定	軟部組織損傷総論① 筋の損傷	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	各テキストの確認を行な う。
第 14 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標 各コマに おける 授業予定	軟部組織損傷総論② 腱の損傷	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	各テキストの確認を行な う。
第 15 回	講義形式	授業を 通じ目標 各コマに おける 授業予定	軟部組織損傷総論③ 末梢神経の損傷	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	各テキストの確認を行な う。

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	臨床柔道整復学各論 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対象学年	3年生	学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎203
担当教員	仲村剛・福士暁也・岩村一 成・澤卓実・林了大 実務経験と その関連資格				

《授業科目における学習内容》

骨折概論、脱臼総論、上肢骨折の概要、整復法、固定法、後療法について学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

定期試験課題100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集) 柔道整復学実技編(全国柔道整復学校協会編集)

《授業外における学習方法》

毎回の講義後、配布プリントとノートを見直しておくこと。

《履修に当たっての留意点》

在学などに留まらず各種行事にて、柔道整復師としての活動を理解することが必要となる。

授美方			内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義	授業を 通じての 到達目標	鎖骨骨折(定型)①	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	テキストの確認を行な う。 必要に応じて解剖学
	我形式	各コマに おける 授業予定	概説、転位と変形	(全国柔道整復学校協会監修教科書)	の教科書確認が必要となる。
第	講義	授業を 通じての 到達目標	鎖骨骨折(定型)②	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	テキストの確認を行な う。 必要に応じて実技編
17	我形式	各コマに おける 授業予定	整復法、固定法、後療法	論稱以訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	の教科書確認が必要となる。
第	講	授業を 通じての 到達目標	上腕骨外科頚骨折(外転型)①	配布資料 柔道整復学•理	テキストの確認を行な
18 F	義形式	各コマに おける 授業予定	概説、転位と変形	論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	う。必要に応じて実技編 の教科書確認が必要と なる。
第	講	授業を 通じての 到達目標	上腕骨外科頚骨折(外転型)②	配布資料 柔道整復学•理	テキストの確認を行な う。必要に応じて実技編 の教科書確認が必要と なる。
19 回	義形式	各コマに おける 授業予定	整復法、固定法、後療法	論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	上腕骨外科頚骨折(内転型)①	配布資料 柔道整復学·理	テキストの確認を行な
20 形	義形式	各コマに おける 授業予定	概説、転位と変形	論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	う。必要に応じて実技編 の教科書確認が必要と なる。

	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 21 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標 各コマに おける	上腕骨外科頚骨折(内転型)② 整復法、固定法、後療法	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教	各テキストの確認を行な う。
第	講	授業予定 授業を 通じての 到達目標	上腕骨骨幹部骨折①	科書) 配布資料 柔道整復学·理	テキストの確認を行な う。必要に応じて解剖学 の教科書確認が必要と なる。
22 回	義形式	各コマに おける 授業予定	概説、転位と変形	論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	上腕骨骨幹部骨折②	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	各テキストの確認を行な
23 回	我形式	各コマに おける 授業予定	整復法、固定法、後療法	(全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	う。
第	講義	授業を 通じての 到達目標	上腕骨顆上骨折①	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	各テキストの確認を行な う。
24 回	彩形式	各コマに おける 授業予定	概説、転位と変形	(全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	上腕骨顆上骨折②	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	テキストの確認を行な う。 必要に応じて解剖学
25 回	我形式	各コマに おける 授業予定	整復法、固定法、後療法	(全国柔道整復	の教科書確認が必要となる。
第	講義	授業を 通じての 到達目標	上腕骨顆上骨折③	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	各テキストの確認を行な
26	我形式	各コマに おける 授業予定	臨床上重要なレントゲン撮影の診かた	(全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	Ž.
第	講義	授業を 通じての 到達目標	上腕骨外顆骨折①	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	各テキストの確認を行な う。
27 回	形式	各コマに おける 授業予定	概説、転位と変形、固定法	(全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	上腕骨外顆骨折②	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	各テキストの確認を行な
28 回	彩 式	各コマに おける 授業予定	臨床上重要なレントゲン撮影の診かた、予後	(全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	う。
第	講義	授業を 通じての 到達目標	上腕骨内側上顆骨折	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	テキストの確認を行な う。必要に応じて解剖学 の教科書確認が必要と なる。
29 回	我形式	各コマに おける 授業予定	概説、転位と変形	(全国柔道整復学校協会監修教科書)	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	まとめ	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	各テキストの確認を行な
30回	我形式	各コマに おける 授業予定	総まとめ	(全国柔道整復学校協会監修教科書)	う。